

翔

百万石蝶談会 No. 163

August 2003



石川県輪島市での2002年の蝶採集記録から

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗

■アオバセセリ

アオバセセリは、輪島市では年間を通して2、3頭も見れば良い方で、希種に属すると考えられる。ところが2002年は、鉢伏山でアサギマダラのマーキング中にたびたび出会い、そのうち4♂を採集することができた。場所は、鉢伏山頂上をとりまく小径の標高約500mの地点であり、道路わきのリョウブの花で吸蜜するとともに、その周辺を活発に翔びまわっていた。その時間帯は7～8時である。

また、三井町で1♂を採集したが、この地での初記録と思われる。

2002年5月23日	輪島市三井与呂見坂田	1♂	日吉芳朗
2002年7月30日	輪島市鉢伏山	1頭目撃	日吉芳朗
2002年7月31日	輪島市鉢伏山	3♂	日吉南賀子
2002年8月 1日	輪島市鉢伏山	2頭目撃	日吉芳朗
2002年8月 4日	輪島市鉢伏山	1頭目撃	日吉南賀子
2002年8月 6日	輪島市鉢伏山	1♂	日吉南賀子

■ウラナミシジミ

輪島市沖合50kmの舳倉島でウラナミシジミ2頭を目撃した。1頭は定期船接岸地点のそばにある草むらであり、もう1頭は北づらの海岸の草地である。確認とともに採集しようとしたら、猛スピードで逃げられた。島での初記録と思われる。

2002年10月5日	輪島市舳倉島	2頭目撃	日吉芳朗
------------	--------	------	------

■リュウキュウムラサキ

舳倉島の民宿にあるアサギマダラの観察記録ノートに、国立市の渡部良樹氏がリュウキュウムラサキ1♂を目撃し、写真撮影に成功したことが書かれていた。渡部氏に連絡を取り、筆者も写真で確認した。リュウキュウムラサキは、本県2頭目の記録である。

2002年9月6日	輪島市舳倉島	1♂目撃	渡部良樹（渡部、2003）
-----------	--------	------	---------------

■コムラサキ

近年、コムラサキ（黒色型）も輪島市ではほとんどその姿がみられなくなったが、中段町の鳳至川河畔のヤナギの周辺で数個体を採集、目撃することができた。気付くのが時期的におそかったこともあり、明年以降の調査に期待している。

2002年8月13日	輪島市中段	2♂採集5頭目撃	日吉宏朗・日吉芳朗
2002年8月15日	輪島市中段	2頭目撃	日吉芳朗

■ウスバシロチョウ

鳳至郡門前町に隣接する、ごく一部の地域で観察できる輪島市のウスバシロチョウは、2002年現在もなお健在である。その地点は、別所谷町大久保と上黒川町の比較的狭い範囲に限られ、他地域へ広がっていく気配はみられない。以下にいくつかの採集例を示す。

2002年5月12日	輪島市上黒川	8♂	日吉芳朗・日吉宏朗
2002年5月15日	輪島市別所谷大久保	3♂2♀	日吉芳朗
2002年6月 2日	輪島市別所谷大久保	2♂2♀	日吉芳朗・日吉南賀子

■その他

ツマグロヒョウモンは、2001年よりほとんど見られなくなり、2002年は1頭すら目撃できずに終わった。1998年秋の大発生から、5年目にして終止符がうたれた感をいなめない。

ヒカゲチョウは、近年その姿がみられなくなったことから、2002年は特に注意をはらったが、見出すことができなかった。

舳倉島のキチョウは、渡島したバードウォッチャーから話を聞き、発見に期待していたものの、確認できなかった。

《 参考文献 》

渡部良樹(2003)石川県舳倉島でのリュウキュウムラサキの撮影記録. 蝶研フィールド(205):25-26.

- 《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町 1部64-1》
 《ひよし な が こ 〒928-0001 輪島市河井町 1部64-1》
 《ひよし あつろう 〒928-0071 輪島市輪島崎町 3部24》

富山県上市町馬場島にてムモンアカシジミを目撃

勝海雅夫

キベリタテハの観察に、上市町馬場島を訪れた際、体長5mm前後のクサアリモドキがミズナラの樹皮上を上下していたので、ピーティングしたところ、3頭のムモンアカシジミが飛び出した。当日観察した蝶とともに報告する。

■2002年9月4日 富山県中新川郡上市町馬場島 勝海雅夫

ムモンアカシジミ	3頭目撃	キベリタテハ	1♀
ミヤマカラスアゲハ	2♀目撃	ホシミスジ	2♀目撃

《かつみ まさお 〒921-8051 金沢市黒田1-23-2》

ムラサキシジミを林道脇のコナラとミズナラから採幼

松井正人

ムラサキシジミの幼虫を、林道脇のコナラとミズナラから採集したので報告する。

林道脇の草木は、車両通行の障害とならないよう、年に数回刈り取られているため、背丈は低く押さえられている。今年も既に刈り取られたらしく、この中のコナラとミズナラは、この時期に新葉を付けていた。

延長10m程の範囲に高さ20cm未満のコナラとミズナラがポツポツあり、これらから2齢と3齢と思われる幼虫を採集した。

2003年7月6日 石川県石川郡白峰村白峰スキー場
13幼(コナラ・ミズナラ) 松井正人採集

石川県には、ムラサキシジミの記録は少ないが、昨年からコナラ(未発表)とミズナラ(松井、2002)から幼虫が観察されるようになった。



1枝に3頭の幼虫が付いていた排水路横の小さく刈り込まれたミズナラ



ムラサキシジミの幼虫が付いていた背丈が低いコナラとミズナラがあった場所

《参考文献》松井正人(2002)石川県金沢市でムラサキシジミの幼虫を観察. 翔(157):1-2.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

金沢市におけるクロマドボタルの採集記録2例

高田 兼太

クロマドボタル *Lychnuris fumosa* (Gorham)は、近畿地方から東北地方にかけて分布し（新村、1990）、雌は翅が退化して飛ぶことができないため、その生息地は陸貝が多い湿潤な場所にかぎられていることが知られている（新村、1991）。本種は、県内からは金沢市夕日寺（新村、1991）、金沢市涌波（新村、1990）、白山地域の標高1300～1500m（高羽・他、1998）、尾口村岩間温泉（高羽・他、1998）から記録されているが、採集記録が少ないためか、県内の分布についてはあまり知られていない。

筆者は、金沢市角間丘陵にある金沢大学里山ゾーンで本種を採集したので、ここに記録しておく。

2003年6月23日 石川県金沢市角間 1頭採集 高田兼太

金沢大学里山ゾーン内のコナラ、アベマキ林で午前中（10時から11時頃）に飛翔中の個体を採集した。

また、金沢市田島町における採集記録もあるのでここに記録しておく。

2003年6月25日 石川県金沢市田島 1頭採集 大脇 淳

末筆ながら、クロマドボタルの分布状況および文献についてご教示、ご提供いただいた中村晃規氏（金沢大学理学部）、新村光秀氏（金沢ホタルの会）、加藤明宏氏（石川むしの会）、標本をご提供いただいた大脇 淳氏（金沢大学）にお礼申し上げます。

《参考文献》

新村光秀（1990）金沢の陸生ボタルについて．螢火乱舞（創刊号）：6-10．

金沢ホタルの会．

新村光秀（1991）私とホタル．螢火乱舞（2）：26-28．金沢ホタルの会．

高羽正治・他（1998）甲虫目．石川むしの会・百万石蝶談会編．石川県の昆虫：

102-251．石川県．

《たかだ けんた 〒920-0934 金沢市宝町6-26 二井マンション》

2002年アサギマダラ日記

松井正人

■5月5日 初観察は舢倉島

2002年の石川県内初観察は、輪島市の沖合50kmに浮かぶ舢倉島だった。2001年に舢倉島アサギマダラプロジェクトが始動し、周囲約4kmのこの島に、春期と秋期に多数のアサギマダラが飛来することが、ようやく分かりかけた頃であった。島へ渡るには、1日1往復の船便が頼りで、頻繁に通うこともできず、島民や島を訪れる観察者が、とても貴重な情報源となる。

2002年5月5日 輪島市舢倉島 1♀採集 矢田新平（矢田新平、2002）

■5月25日 海岸調査で観察できず

海岸に生えるスナビキソウが、この時期のアサギマダラにとって重要な蜜源となっている可能性があり、前年に観察された場所へ今年も調査に出かけた。金沢市専光寺浜には、所々にまとまってスナビキソウがあり花を付けていたが、アサギマダラは観察できなかった。12日に調査した時には、スナビキソウは咲き始めだった。



舢倉島の海岸で見られたスナビキソウ

■6月1日 舢倉島で調査

金沢を出発したのが6時半、8時半に船に乗り込み、島に着いたのは10時半。港の反対側になる島の北側は、原生花園のようで、いろんな花が咲き乱れ、踏み込む度に野鳥が飛び立つ。スナビキソウもたくさんあったが、アサギマダラは観察できなかった。

■6月9日 石動山で初マーキング

ようやくアサギマダラが観察できた。南方からの飛来個体のようで、かなり破損した♂だった。ウツギの花に止まっていたが、吸蜜は観察していない。今年は、幼虫捜しも芳しくなく、数カ所で調査しているが、まだ何処でも観察していない。

2002年6月9日 鹿島郡鹿島町石動山 1♂マーキング 松井正人

■ 6月15日 ようやく幼虫を観察

触倉島調査の帰路に高洲山に寄り、オオカモメヅルの葉490枚を調べたところ、ようやくアサギマダラの幼虫2頭を観察した。孵化直後の幼虫で、丸い食痕を作っていた。6月1日から、能登や白山周辺の各地で幼虫を捜していたが見付からず、今日の観察も2頭と少ないことから、今年のアサギマダラは、少なくなりそうな不安がよぎった。



丸い食痕を作り始めた孵化直後の幼虫

2002年6月15日 輪島市高洲山 2幼目撃 (オオカモメヅル) 松井正人

■ 6月23日 白山周辺で幼虫を観察

小雨の中、カッパを着て、幼虫の調査。過去に幼虫が観察されている場所ばかり6箇所を廻る。オオカモメヅル1057枚、イケマ259枚を調べ、7卵1幼を観察する。この成果からすると、今年のアサギマダラはやっぱり少なく、発生も遅いような気がする。

2002年6月23日 石川郡白峰村百合谷 5卵目撃 (イケマ) 松井正人

2002年6月23日 石川郡尾口村一里野 1幼1卵目撃 (オオカモメヅル) 松井正人

2002年6月23日 石川郡尾口村ハライ谷 1卵目撃 (オオカモメヅル) 松井正人

■ 7月24日 鉢伏山でマーキング

8時20分からマーキングを始めると、奥の方から声がした。声の主は日吉夫妻で、6時半からマーキングをしていると言う。前日の夕方には、宏朗君もマーキングしていたらしい。前が見えない程に草が繁茂していた歩道は、草刈りされて歩き易く、マーキングも思うようにはかどった。日吉氏の奥さんが、草を刈ってくれたらしい。感謝。



アサギマダラに囲まれてマーキングする日吉氏

鉢伏山ではスギ林の下草刈りが始まっていた。スギの木には、大きいものと小さいものの2種類があり、小さいスギの木の林を草刈りしていた。マーキングポイントは、大きいスギの木の林にあり、草刈りは行われませんが、それによって歩道は歩きづらく、ヨツバヒヨドリは被圧され、年々少なくなって来たような気がする。

2002年7月24日 輪島市鉢伏山 139♂49♀マーキング 松井正人

■ 8月10日 佐渡島でマーキング

鉢伏山でマーキングしたアサギマダラが、再捕獲できないものかと、佐渡島へ向かった。ドンデン山にアサギマダラが多いと、越佐昆虫同好会の金子岳夫氏からうかがっていたが、ドンデン山に登る車道が崩壊していたため徒歩で登り、9時半に、ドンデン山のキャンプ場入り口についた。

入り口の斜面にはヒヨドリバナがたくさんあり、キャンプ場へ続く林内の道沿いにもいくらか見られたが、肝心のアサギマダラはいない。林内には、イケマもあったが幼虫は観察できなかった。

帰路、舗装道路横のヒヨドリバナで1♂を発見し初マーク。舗装道路沿いに捜すと、近接した場所で3♂を発見し、ようやく4♂にマーキングすることができたが、能登発のアサギマダラは見つからなかった。

車道は通行止めで人間がいなかったためか、ドンデン山の牛はどこでも自由に歩き回り、どこもかしこも糞だらけで、舗装道路の糞は目立っていた。細い山道も歩くようで、4頭の牛の群れに鉢合わせした時は、思わず木に登ってやり過ごした。

2002年 8月10日 新潟県両津市ドンデン山 4♂マーキング 松井正人

■ 9月19日 宝達山のマーキングは不調

宝達山で秋のマーキングを9月14日から始めたが、くもり空では気温も上がらず、アサギマダラが少ない。19日は快晴に誘われ、勇んで駆けつけたが、やっぱり気温は上がらない。3日とも現地の最高気温は18℃。

ピーク周辺で網を持って歩いていると、「アサギマダラですか」と声をかけられるようになってきた。毎年、この時期になると新聞やテレビで取り上げられている為か、一般に知られるようになってきたらしい。この際と思い、15日に期間限定のアサギマダラの看板(A3サイズ)を、ピークに出した。

9月頃になると、この辺りでは、渡り鳥のように「渡り」をするアサギマダラという蝶が、たくさん見られます。
この蝶の羽に印(マーク)を付けて、どこからどこへ飛びのかを調べるマーキング調査が、日本各地で行われていて、遠くは台湾まで渡りをしていることが分かってきました。
宝達山でマークしたアサギマダラは、京都、三重、徳島、鹿児島、沖縄などで見つかっています。
詳しいことは、山の竜宮城におたずねください。

アサギマダラの写真とセットで掲示した看板

2002年 9月14日	羽咋郡押水町宝達山	5♂12♀マーキング	松井正人
2002年 9月15日	羽咋郡押水町宝達山	3♂4♀マーキング	松井正人
2002年 9月19日	羽咋郡押水町宝達山	11♂3♀マーキング	松井正人

■ 9月21日 宝達山でマーキング会

9月に入って最もコンディションが良く、気温も19℃まで上がった。午後からは、吉長さん一家や舘さん一家もやってきた。佐藤廣氏の書かれた、月刊たぐさんのふしぎシリーズ「旅をするチョウ」を読んで、今日の日を楽しみにしていたらしい。去年は、アサギマダラの数が少なくてマーキングできずに悔しい思いをしたが、今年は、マーキングできて、ご満悦だった。



マークしたアサギマダラを持ってご機嫌のマーカ―達

2002年 9月21日	羽咋郡押水町宝達山	1♂3♀マーキング	吉長高嶺
2002年 9月21日	羽咋郡押水町宝達山	2♂マーキング	舘 佳佑
2002年 9月21日	羽咋郡押水町宝達山	11♂3♀マーキング	松井正人

■ 9月29日 宝達山のマーキングはやっぱり不調

9月22日には、京都の藤井夫妻も駆けつけてくれたが、最高気温は16℃と最悪で、マーキングできず。26日は、下界は晴れているもののピークは曇り。

29日は雨だったが、宝達山での年間マーク数100頭を目指して出かける。午後からは天候が回復し、何とか4頭にマーキングし、年間マーク数が101頭になった。今回で宝達山のマーキングを終了することとし、ピークに設置したアサギマダラの看板を回収した。

2002年 9月26日	羽咋郡押水町宝達山	4♂8♀マーキング	松井正人
2002年 9月29日	羽咋郡押水町宝達山	1♂3♀マーキング	松井正人

■ 10月13日 宝達山にアサギマダラはいない

不思議なことに、宝達山で10月6日に15頭のアサギマダラが採集された。「金沢の13日の気温は25℃、平年を3℃上回る予定」との天気予報を聞き、早速、宝達山へ向かった。しかし、現地の気温は18℃で、アサギマダラは全く姿を見せなかった。

2002年10月6日	羽咋郡押水町宝達山	15頭採集	細沼 宏
------------	-----------	-------	------

《 参考文献 》

矢田新平 (2002) 4月下旬～5月上旬に舳倉島で観察した蝶類. 翔 (157) :3.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

6月下旬にヤンバルの森へ
 バードウォッチングと昆虫
 採集の二足のわらじを履いて
 しまった矢田氏、ヤンバルク
 イナ、ノグチゲラ、アカヒゲ
 に出会ったものの、チョウの
 採集は、ほんのちよつと。

ヒメボタルモードに切り替え
 六月二十二日、小松の山間
 地でヒメボタルの発生が始
 まった。まだまだゲンジに未
 練が残る加藤氏だが、モードを
 夜更けから深夜に切り替える。

あのロザリアが小松の低山に
 眩しいほどにきれいなルリ
 ボシ、カミキリ界きつての美
 しさを誇るが、石川県ではブ
 ナ帯でわずかに採れているに
 過ぎない。それが、小松の低
 山に積まれた薪から、かなり
 の数が得られている。

クロコムラサキの遺伝子調査
 各地のクロコムラサキやチヨウ
 センコムラサキを使ったDNA
 A分析が行われるらしい。ク

口の出現頻度が百%に近い奥
 能登のコムラサキ、DNA分
 類による位置関係は、果たし
 てどの辺りだろうか。

舩倉島でアサギのマーキング
 七月四日、舩倉島分校の先
 生によって一♀にマーキング
 された。島関係者のマーキン
 グは、継続と広がり期待で
 きて心強く、仕掛け人の日吉
 氏には、頭が下がるばかり。

岩間温泉でライトトラップ
 むしの会恒例のライトトラ
 ップは、雨で延期され、七
 月十二日に行われた。梅雨の
 最中で、雨こそ降らなかつた
 もの、気温が低く虫も人も
 集まりがいまいちだった。

都心部に響くヒグラシの声
 七月十四日、騒音に紛れて
 ヒグラシの声が聞こえた。そ
 れからは、夕方になると毎日
 のように聞こえてくる。場所
 は、旧県庁前の広坂通り。そ
 う言えば、春にはハルゼミも
 聞こえると聞いた事がある。

ホームページにS井氏の成果
 愛娘から送られたデジカメ
 にのめり込んでいるS井氏、
 成果が溜まって、ついにホー
 ムページにアップした。
[http://jaco.ec.t.kanazawa-u.
 ac.jp/insectlib/index.shtml](http://jaco.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/insectlib/index.shtml)

舩倉島の蝶リストに一種追加
 輪島市の北方五十キロメー
 トルに浮かぶ日本海の孤島、
 舩倉島では、これまで十三種
 の蝶が観察されていたが、日
 吉氏によってウラナミシジミ
 が追加された。

例会の記録

六月十二日(木)城南管工
 一階にて八時から開催。

ゼフ情報に始まりゼフ情報
 に終る。これまでの発生状況、
 フジミドリの初飛予想、ヒサ
 マツやムモンアカの採集予想
 など、特に医王山での話が盛
 り上がった。

その他の話題では、真川は
 一般者(車ではない)通行止、
 タمامシ採集用のラメ入り

ネット、ピットホールでアオ
 カタ三頭、クロセセリがおも
 しろいかも、などなど。
 参加は、松井、中西、山岸、
 久慈、生田省、細沼、吉村、
 大脇の八人。

例会の記録

七月三日(木)城南管工一
 階にて八時から開催。

今回は、交換留学生として
 インドネシアに数年滞在して
 いた高田君が語る現地の生
 活。赤貧生活で、現地に溶
 け込もう。現地人に見られれ
 ばしめたもの、スンダ語を
 使って激安買物。屋台の食事
 はおいしいが、安全なお店を
 選ぼう。これら、体で覚えた
 話は聞き応えがあった。

その他の話題は、ヒサマツ
 は夕日が当たる場所、キア
 ゲハは果たして一種か、クロ
 シジミは白山周辺の崩壊地
 で、医王山で採れるオオズ
 ナガゴミ、などなど。

参加は、細沼、久慈、中西、
 高田、松井、生田省、大脇、
 山岸の八人。

会員の動き・しゃばの動き

舳倉島にハルゼミは分布するか

島で記録されているセミは、ツクツクのみで、ニイニイも居なけりやアブラも居ない。しかし、アサギ調査の折、日吉氏はそれらしい声を聞いている。しかも二年連続で。

六月は医王山へ行こう

六月に入って虫屋が多くなった。長い竿やカメラを抱えて、平日休日を問わず毎日やって来る。十五日は一段と多かったようで、みんなブナの木の回りに集まっていた。

お天気と休日がかみ合わない

六月後半は、休日になると天気が悪く、フジミドリの成果は悲惨な結果になっている。しかし、毎日が日曜日のS井氏だけは、しこたまゲツトして、笑いが止まらない。

富沢氏、燈火採集で熊と遭遇

薄暗くなる頃、近くでガサゴソ音がする。距離は二十メートルほど。静かにしていると「熊だ」と騒ぎだした。「やかましい。ここは俺のなわばりだ」と言っても熊語は人間には分からない。

今年も某地でヒサマツ採集

羽化直後の個体は、発生木の周りに居るらしい。頃は十五日前後、夕日に照らされて、チラチラ飛んでるとか。

イカリモンハンミョウ分布の謎

かつて大野川以北に生息していたイカリモン、なぜ大野川以南に居なかったのか、なぜ内灘町で消滅したのか、決定的な資料から、その謎が解き明かされようとしている。

日吉氏、運転免許を取得

四月から通い始めた自動車学校、好きな虫採りよりも優先させ、ようやく念願の免許を取得。これからは、一人でも何処へでも行けるが、「ともかくにも、慎重の上に慎重に」と話していた。

今年も鱗翅目の幼虫が大発生

山を歩いてみると、パラパラと糞が落ちてくる音に驚かされ、何処もかしこも食い尽くされていたのは去年の話。今年も何かが大発生しているようで、丸坊主になった樹々が目立っているが、クスサンの幼虫もかなり目立っていた。

消防署で開くむしの会の例会

当初は、地域の集会所で開かれていた石川むしの会の例会、最近は消防署で開かれている。きれいな研修室、広い駐車場、午後十時まで使用可能、おまけに無料と申し分ないが、たばこ火にはうるさく「禁煙」なのが難点とか。

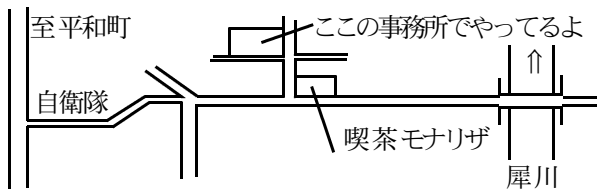
翔

163号

Tobu 2003年8月10日発行
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (163号)

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗：

石川県輪島市での2002年の蝶採集記録から	1
勝海雅夫：富山県上市町馬場島にてムモンアカシジミを目撃	2
松井正人：ムラサキシジミを林道脇のコナラとミズナラから採幼	3
高田兼太：金沢市におけるクロマドボタルの採集記録2例	4
松井正人：2002年アサギマダラ日記	5
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10